



青谷 章 議員

観光振興

本年度の重点施策は？

観光施設の
リニューアルを進める

答

問 平成26年度の継続的・
具体的な取り組みと目
標は。

答 商工観光部長

人口減少や少子高齢化等、社会情勢が大きく変化する観光を取り巻く環境も大きく様変わりする中、高島市にとっても基幹産業である観光産業をどのように展開していくかは大きな課題であり、また、大きな期待でもある。そこで、高島市の観光振興に対する取り組みについて問う。

問 平成26年度の重点施策は。

答 商工観光部長

魅力ある観光施設のリニューアルを計画的に進め、集客性の向上に努めます。

問 滋賀県観光交流振興
指針に対する市の進め
方は。

答 商工観光部長

県のアクションプランに歩調を合わせながら、県ならびにびわこビジットスビューローの積極的な企画をお願するほか、有効な財源確保に向けても連携を密にしていきたいです。

さらに、トレイルランニング等を軸に、より誘客促進を進めます。

具体的な数値目標としては、年間観光入込客数460万人を目指します。

問 びわ湖高島観光協会
のあり方について、
〔仮称〕高島観光物産
プラザでの物産振興
事業に求めるものは。
また、公益社団法人
としての観光協会に求
めるものは。

答 商工観光部長

これまでの観光振興と併せて、物産品の販売促進等、物産振興との両面から地域経済の振興を担う強いリーダーシップを発揮していただき、市の基幹産業である観光産業をさらに発展させるため、組織力の強化を図っていただきたいと考えます。

市としても、今まで以上に観光協会との連携を強化し、一体的な観光受け入れ体制を強化し、観光振興を図っていきます。

用語解説

●着地型観光：

観光客を受け入れる地域が、独自の観光資源を活かして企画する集客形態。

●トレイルランニング：

未舗装の山野を走るランニングスポーツ。



▲豊かな自然を観光資源に

その他の質問

●スポーツ振興